

下風呂温泉・遊むべしマップ



北限のサル、ニホンカモシカにご対面できるかも



下風呂温泉の歴史

下風呂温泉
 康正年間（1455～1456年）の地図に下風呂を湯本と記してある。湯本と云うは古く温泉地に冠せられた處にて、その其例は関東にて箱根の湯本、那須の湯本（略）などがある。これ等は何れも温泉地として夙に著聞する處であるが、下風呂も既に早くから温泉を以て知られた處である。（下北半島町村誌より）

薬師如来の記

自由寺には青銅の薬師如来があります。1687年に京都の妙心寺二四二世、大道生安という和尚が布教のため全国を遊歴した折に下風呂温泉に入浴しました。その時に湯監（湯守）長四郎・清三郎・里長佐賀氏等に薬師如来を寄進する約束をして帰り翌年、大像常味に銅製の薬師如来坐像を鑄造させ、寄進したといわれています。

南部四代藩主重信公

1656年（明暦二年）南部藩四代藩主重信公が領内巡視の折、下風呂の温泉に入浴し、一般庶民に温泉入湯を許可され、武運長久と国豊民安のために浄土庵に千手観音菩薩を勧請しました。また、この時に薬師堂に薬師如来を寄進したとも伝えられています。



下風呂温泉の坂道

津軽海峡を目前に、背後には燧岳（ひうちだけ）の裾野が迫る下風呂温泉は坂の街でもあります。下風呂地区の小学生のみなさんが命名してくれた下風呂の坂道は全部で6ヶ所。全部見つけることができるかな？

- つばな坂…下風呂小学校へ続く坂*
- なつかし坂…旧小学校へ続く坂*
- 若がえりの坂…新湯へ続く坂
- 湯つなぎ坂…新湯と大湯の間の坂
- いで湯坂…大湯へ続く坂
- 汐見坂…足湯へ続く坂

*つばな坂となつかし坂はこのマップ外にあります。

公衆トイレ



海峽の宿 長谷旅館 (休館中)

下風呂 観光ホテル 三浦屋

ホテルニュー下風呂 別館 汐彩

ホテルニュー下風呂

おおぎや旅館

二見岩



新島裏寄港記念碑